

令和6年度 第5回山城地方学力向上対策会議を開催しました！



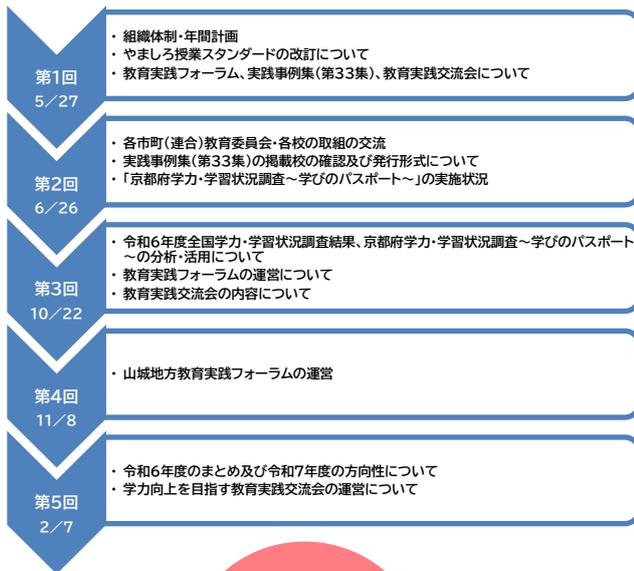
令和6年度第5回山城地方学力向上対策会議を開催し、「教育実践交流会の運営」、「教育実践事例集第33集」、「令和6年度のまとめと令和7年度の方向性」について協議を行いました。

今年度最終回となる本会議において、今年度の事業について総括し、次年度の山城地方小・中学校の学力充実・学力向上に向けて、軸となる授業改善の視点について協議を行いました。

- 1 日時 令和7年2月7日(金) 午前10時から同11時まで
- 2 場所 京都府総合教育センター
- 3 出席者 山城地方学力向上対策会議員 24名
(各地方校長会代表、市町連合教育委員会、山城教育局指導主事)

令和6年度の総括と令和7年度の方向性について

令和6年度取組内容



本年度の成果と来年度への方向性

学力向上 対策会議



- 山城地方管内小・中学校における「授業改善による学力の充実・向上の具体的な方策」について協議
- 「やましろ授業スタンダード」(改訂版)の内容確認
- 学力向上に関する取組の円滑な運営に向けて内容検討、協議、役割確認
- 管内学力・学習状況の情報の共有
- ◆全国学力・学習状況調査及び京都府学力・学習状況調査(学びのパスポート)の結果等を踏まえた学力状況に関する情報の共有と課題解決に向けた具体的な手立ての交流
- ◆「やましろ授業スタンダード」(改訂版)等を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を組織的に進めるための協議
- ◆学力向上に関する各取組の更なる推進に向けて内容を検討・協議し、役割を確認
- ◆来年度の会長は相楽ブロック、副会長が宇治ブロック(小)・城久ブロック(中)

教育実践 フォーラム



- 「やましろ授業スタンダード」(改訂版)等を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業を公開
- 「主体的な学びとなる単元構想・授業づくり」「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」「学習指導と生徒指導の一体化」等、授業改善の視点につながる課題提起
- 公開授業をベースに、「自ら学びをマネジメントする力」をはぐくむ授業づくりにおける学習者の学びをとらえる」を視点とした、参加者が授業改善に向けたイメージを広げる協議
- ◆来年度は、城陽・久御山ブロックを会場として開催
- ◆「やましろ授業スタンダード」(改訂版)等を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進める授業を公開
- ◆フォーラムに向けての学校支援
- ◆公開授業数やタイムテーブル等、運営方法の検討
- ◆効果的な交流協議の内容や協議の柱の検討

教育実践 交流会



- 実践発表校の優れた実践成果を管内へ普及
- 学力充実・向上に向けた自校の研究・取組をもとにした交流協議
- 授業改善を軸にした組織的な課題解決に向けた検討
- ◆小・中学校別分断会の持ち方について
- ◆実践発表校の支援
- ◆効果的な交流協議の内容や協議の柱の検討

教育実践 事例集

- 実践事例集(第33集)及び「活用ガイド」を発行、管内小・中学校に配付(データ版)
- 管内小・中学校の優れた実践を普及
- 活用ガイド更新し、各校への波及方法を提言
- ◆教育委員会ごとに設置校数が違うため、次年度以降掲載を各教委必ず1校とせず、実態に応じたサイクルになるよう検討

内容の 発信

- 学力向上対策会議での協議内容をホームページに掲載し、各校長会・各校に発信
- ◆来年度についても、学力向上対策会議での協議内容、取組内容をホームページに掲載し、各校長会・各校に発信



令和6年度山城地方学力向上を目指す 教育実践交流会 を開催しました！

目的 確かな学力の育成を目指して、山城地方の小・中学校における学力の充実・向上の取組を交流し、その一層の推進を図る。

分散会 I

- ①アイスブレイク
- ②実践発表
- ③グループ交流
- ④質疑応答
- ⑤指導助言

第1分散会	宇治市立大開小学校	森田 裕美子 教諭	基礎学力向上を目指した「学びの機会」の充実 ～主体的に学習に取り組む児童を育てる～ 「主体的に考え、楽しみながら学び続ける児童の育成」 ～少人数の特性、豊かな自然を生かし、探究心を育てる授業をめざして～
	宇治市立笠取第二小学校	中島 知子 教諭	
	精華町立精華中学校	伊藤 大二郎 教諭	基礎学力の定着に向けた授業づくり
第2分散会	相楽東部広域連立和東小学校	北澤 健太郎 教諭	認知・非認知能力の一体的な向上にむけて ～しゃべくり089(エイティナイン)～
	城陽市立東城陽中学校	武永 学士 教諭	東城陽流 深い学びへのアプローチ ～主体性と対話性～ GOES ON
第3分散会	久御山町立東角小学校	木田 勇輔 教諭	非認知能力の育成と探究的な学習の創造をめざして
第4分散会	京田辺市立大住中学校	森田 真吾 教諭	「未来の担い手育成プログラム」を軸とした課題解決型の学習の充実
	井手町立多賀小学校	北井 裕紀 教諭	ICTを活かした協働的な学習から深い学びへ～one step one up one team～
第5分散会	八幡市立中央小学校	中島 大輔 教諭	すべての児童が学びに向かい、「わかる」「楽しい」を実感できる学校を目指して
	宇治田原町立田原小学校	澤井 悠亮 教諭	ICT機器と思考ツールを活用した学びの深化に向けた取組
	木津川市立木津中学校	石橋 正樹 教諭	主体的に学習に取り組む、他者と協働しながら課題を解決している生徒の育成 ～ICTを活用した確かな学力の育成～



優れた実践をインプット

グループで意見交流
自分の考えをアウトプット

見方・考え方を
深めてメタ認知



・大変参考になる実践事例発表でした。学力分析や児童生徒の見取りから適切に課題を把握し、その課題から改善策をどのように取り組むかという流れに沿っていました。課題解決の出発点として、児童生徒の実感把握をすること、対話やアウトプットを中心とした生徒主体の授業改善を図っていくことの大切さを実感しました。

・「授業づくりシート」といった教師同士が同じ視点で授業を作成したり、参観したりできる資料はとても参考になった。事後研などでも、教師同士の話し合いでも活用しやすく、有効であると考える。

・教師と生徒が共に成長する関係性の重要性を再認識し、信頼関係を築くことが生徒の学びを支える鍵であると感じました。

・リーダー育成の大切さと、見通しをもった計画的な指導が大切だと感じました。また、教師間の日々のコミュニケーションも大事にチームで動ける環境づくりが必要と感じました。

・教職員が同じ方向に向かって進むためには、課題の明確化、目標の焦点化、具体的に誰もが取り組みやすい設定をすることが大切だと感じました。

・子ども達の向上する力について、諦めずに取り組むこと。それをみんなで継続して行い、学校の自ら学び続けるという風土を醸成していくことを学びました。

・学校体制で教育実践に取り組まれていることがあげられるが、自校の課題や強みの分析を行い、明確なビジョンを立てることが肝要であることも気付かされた。



自校の
組織的な課題改善の
手立てを考える

各校の実践研究を共有

参考になった取組を全体でシェア



- ①アイスブレイク
- ②グループ交流
- ③全体交流
- ④グループ協議

分散会 II